

接待交際費のうち 接待飲食費の取り扱いが

4月1日より変わりました

中小企業の販路開拓・販売促進等に必要と考えられている交際費。最近の急激な物価高の影響も考慮されて、令和6年4月1日以後に支出する飲食費について、損金不算入となる交際費等の範囲から除外される一定の飲食費に係る金額基準が1人当たり1万円以下（現行：5,000円以下）に引き上げられました。

今回は、その接待飲食費について、今一度おさらいしましょう。

【接待飲食費の範囲】

- ① 得意先等を接待して飲食するための「飲食代」
- ② テーブルチャージ料やサービス料等
- ③ 会場費
- ④ 得意先等の業務の遂行や行事の開催に際する弁当の差入れ代
- ⑤ 飲食店等での飲食後、その飲食店等で提供されている持ち帰りの「お土産代」

該当

一方で、以下のような支出は接待飲食費には該当しません。

- ⑥ ゴルフや観劇、旅行等の催事に際しての飲食等に要する費用
- ⑦ 飲食店等へ得意先等を送迎するために支出する送迎費
- ⑧ 飲食物の詰め合わせを贈答するために要する費用

該当せず

⑥と⑧は似ているようですが、他店で購入してきたものをお土産で渡す分は接待飲食費には当たらないということになります。

また、飲食費でも社外の人に参加していない、いわゆる「社内飲食費」はたとえ1人当たり10,000円以下であっても交際費から除くことはできません（ただし、会議費や福利厚生費としてそもそも交際費等の範囲から除かれるものはこの話の対象外です）。

また、社外の人1名でも参加している場合は接待飲食費に該当します（グループの社員であっても社外の人としてカウントされます）。

【書類の保存について】

交際費等から除外されるため、次に掲げる事項を記載した書類を保存していることが必要とされています。

- ① その飲食等のあった年月日
- ② その飲食等に参加した得意先、仕入先その他事業に
関係のある者等の氏名又は名称及びその関係
- ③ その飲食等に参加した者の数
- ④ その費用の金額並びにその飲食店、料理店等の名称及び
その所在地
- ⑤ その他参考となるべき事項

飲食店が発行する領収書には上記の①と④の記載はありますが、②と③の記載は領収書にはありませんよね（⑤は税務調査時に論点になることが少ないので割愛します）。つまり、この②と③を書き込むことで除外する（つまり、会議費とする）ことができるのです。

ちなみに、国税庁のQ&Aには例として

「〇〇会社・□□部、△△◇◇（氏名）部長他10名、卸売先」

と記載されています。

お酒が入っているとなかなかここまで書くのも大変ですね。書き込んでいない方も多いので気を付けましょう。

また、人数を水増ししたり、社外の人に参加していたなど虚偽の記録を残すと「仮装・隠蔽」行為として重加算税の対象となる可能性が高くなりますので、くれぐれもご注意ください。

いかがでしたでしょうか？ 改めて言われるとちょっと心配になってきたということであればセブンセンスの各担当者までお気軽にご連絡ください。

文●セブンセンス税理士法人 パートナー税理士 井本壮一郎

セブンセンスグループに

新たな仲間が加わりました!

2024年度入社式!



2024年4月1日。
セブンセンスグループに6名の新卒社員を迎え、静岡オフィスにて入社式を執り行いました。
入社式後、ビジネスマナー研修やコンプライアンス研修、幹部社員との面談などグループ内の先輩社員が企画した新人研修を4日に渡って実施しました。研修等の様子は、後日セブンセンス公式noteで公開予定です! お楽しみに!

公式note
こちらから!



たった30秒! 英語で「Topics」をYouTubeにて配信中!

Seventh Sense Group Channel

YouTubeサイト内[Seventh Sense Group]で検索・登録!

<https://www.youtube.com/channel/UCiZ0YyTxji7HpALT0Lc101Q/>

ネイティブスピーカーのスタッフが、日本の税制やビジネス、そのほかさまざまなトピックスを、30秒間でコンパクトに英語で発信。情報収集や英語のヒアリングなどに、ぜひご活用ください!

インターネットで買い物をしていると、時間を忘れて長時間サイトを見てしまいますね。楽しいショッピングサイトですが、最近消費者を欺く手法「ダークパターン」が話題になっています。

「ダークパターン」とは、「消費者にとって不利な決定に誘導する手法」のことです。人間の心理に訴えかける煽りや、複雑で込み入った画面で行動を強制するようなWebのデザインのこと。

海外では先に規制が進み、2021年ではアメリカのカリフォルニア州、2022年にはEU圏内でダークパターンを規制する法律が整備されています。日本でも遅れつつも「特定商取引に関する法律」の改正が2021年に行われました。

ダークパターンについて、米プリンストン大学がさまざまなサイトを分析し、7種類に分けた分類を発表しています。

- ①こっそり:選んでいないのに別の商品が紛れ込んでいる
- ②緊急:あと00分でセール終了!とカウントダウンを強調する
- ③誘導:「購入する」と「キャンセル」のボタンで「キャンセル」の方を目立たなくする
- ④社会的証明:根拠のないユーザーレビューで購入を煽る
- ⑤希少性:「在庫わずか!」と購入を煽る
- ⑥障害物:サブスクを解除する時、長々と質問があったり、電話でないと解約できない
- ⑦強制:商品を見るだけなのに、アカウントの作成を強要する

1つだけ商品を買おうと思っていたらなぜか定期購入になっていたり、解約の方法がとてもわかりにくくなっていたり。皆さんにも心当たりはありませんか? 買わせたい、やめさせたくないという押し付けは、その結果消費者の信頼を下げ、イメージ低下になるだけではないでしょうか。スッキリ買い物できる環境になると良いのですが…。

Dark Pattern



A~Dに入る数字を足すといくつになるでしょうか?
解答は、次月号に掲載します。

			8	5		4	
	7				<input type="text"/>		1
6	<input type="text"/>	3			2	5	
		9		6			8
5			1		8		3
7			4			2	
		8	2			9	<input type="text"/>
	1		<input type="text"/>				2
		6		9	3		

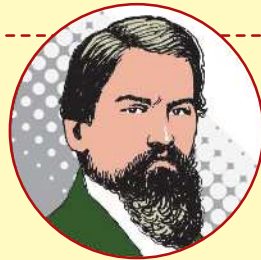
解答欄 ^A + ^B + ^C + ^D = 合計

3月号の答え ^A + ^B + ^C + ^D = 合計 16

先達に学ぶ。

「改良を重ね
ヒットを生む」

ジョン・ペンバートン
(コココーラ発明者)



世界的な企業は数多くある。コカ・コーラ社もそのひとつだ。社名にも冠する同社の代表的商品、コカ・コーラ。ほとんど誰もが知っているこの飲料が作られたきっかけを知っているだろうか?

コカ・コーラはもともと薬として作られた。生みの親は薬剤師ジョン・ペンバートン。彼は若くして薬学の学位を修めるなどとても優秀だった。地元の新聞は「アトランタが生んだ最も著名な薬剤師の1人」とも伝えているそうだ。

ペンバートンは頭痛薬を開発しており、コカの葉から抽出された覚醒作用のあるコカインも活用していた。そこで1880年ごろ「コカイン」の製造に乗り出す。カフェインを含むコーラの実を原材料に加えたペンバートンの「フレンチ・ワイン・コカ」は、うつ状態の改善や活力の向上に効果があるとして大ヒットした。しかし欧州で禁酒運動が盛り上がり「アルコール販売を禁止する法案」が可決。当時はコカインよりも酒のほうが問題視されていた。このことから「フレンチ・ワイン・コカ」も販売できなくなってしまった。

ペンバートンはコカを使った、アルコールなしの新しい飲み物を開発すべく、地道な努力を重ねた。そしてついに1886年。この飲み物は完成する。コカ・コーラだ。ペンバートンの死後もコカ・コーラは改良を重ねられ、以降130年以上にわたり愛される清涼飲料水となった。今や200以上の国や地域で飲まれている。

困難な状況でも諦めずに目標を追求し、世界的な企業の礎を築いたペンバートン。その姿勢からは、学ぶべきところが多い。

Book Review
今月の一冊

基礎から学ぶ
海外資産の法務と税務

- 編著：セブンセンス税理士法人
- 出版社：金融ブックス
- 価格：2,200円(税込)
- 発売中

海外資産・国際相続にまつわる「国際資産税」を基礎から紐解く良書! 国際資産に関する法務と税務の基本的な概念について、海外資産を持つ方や、海外に接点をもつ相続・贈与関係者の方から、多く寄せられる相談を基に構成。起こり得る問題を踏まえた、事前対策の基本書としても最適。特に相談の多い米国資産にも言及しながら、12のケース別の対処等も解説。 kinyubooks.co.jp



今月、この日に何があった?



1873年5月1日
ウィーン万国博覧会が開幕

「文化と教育」をテーマとし、オーストリア(ハンガリー帝国)の首都ウィーンにて開催された。35ヶ国が参加、会期中には726万人が来場した。日本政府が初めて公式参加、日本館が建設された。日本館敷地には、神社と日本庭園を造成し、産業館には工芸品や芸術品も展示された。シーボルトなど日本文化に精通した人物の「西洋の模倣の機械より、精巧な芸術工芸品をアピールせよ」とのアドバイスを受け選定された。そして「ジャポニズム(日本趣味)」として注目された。さて、2025年の大阪での万博まで1年。どんな未来を提示できるのか…?